統計の雑学

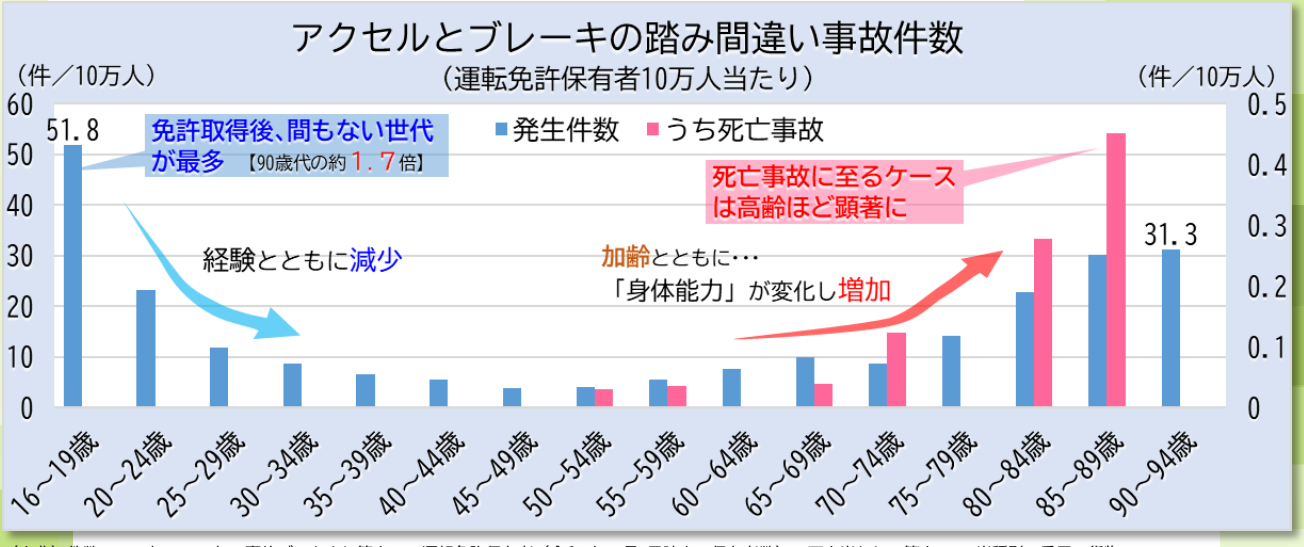
こんなの知っTOUKEI!?

Vol.05

ご存じですか？ 注目されがちな

アクセルとブレーキの踏み間違いは高齢者だけ？

高齢ドライバーがクローズアップされがちな踏み間違い事故。2013年～2022年までの10年間のデータに基づく年間平均事故件数を年齢別に見ると、実は高齢者だけではないんです。



（出典）件数：2013年～2022年の事故データより算出　※運転免許保有者（令和4年10月1日時点の保有者数）10万人当たりで算出　※1当種別：乗用・貨物のみ

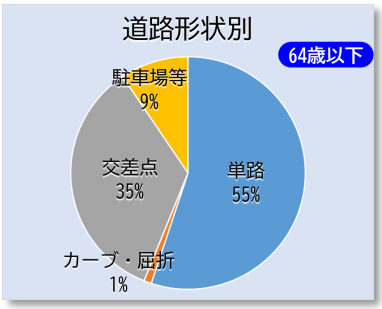
運転免許を取って間もない世代では、実に90歳代の約1.7倍もの踏み間違い事故を起こしています。その後、経験とともに減少し40歳～50歳代前半で最少となります。

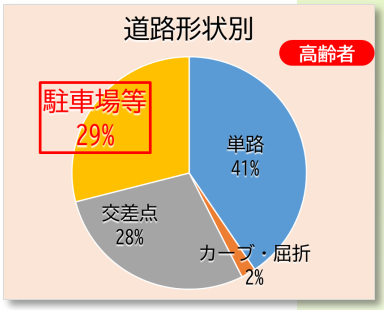
しかし、50歳代後半あたりから再び増加傾向となり、死亡事故に至るケースが現れ、加齢とともに顕著に増加していくことが分かります。

一方、道路形状別で見ると、64歳以下では単路・交差点が大半を占めるのに対し、高齢者は駐車場等における事故割合が多いのが特徴的です。

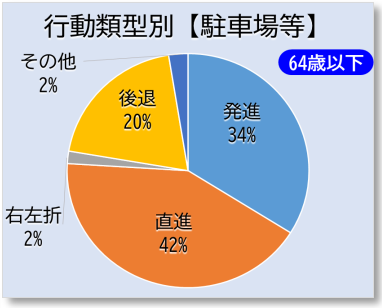
では、駐車場等における踏み間違い事故を行動類型別で見てみるとどうなるか。意外と、年齢では大きな差異が認められないことが分かります。慌てる場面は一緒なんですね。

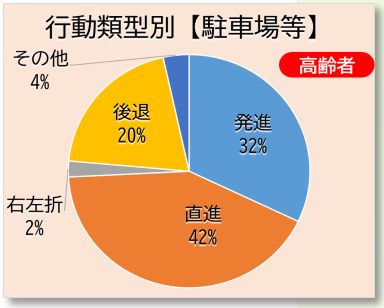
“踏み間違い事故”は高齢者だけの問題だと思っているそこのあなた！次はあなたかもしれません。





（出典）件数：2013年～2022年の事故データより算出　※1当種別：乗用・貨物のみ
※単路には橋梁、トンネルを含む。　※交差点には交差点付近を含む。





（出典）件数：2013年～2022年の事故データより算出　※1当種別：乗用・貨物のみ
※直進には直進加速、直進等速、直進減速を含む。

駐車場等：高速道路等のサービスエリア、店舗の駐車場、コインパーキング等（交通事故統計でいう“一般交通の場所”と同義）

福岡県警察本部交通企画課統計分析係